

証明書エラー: FAQ

適用対象: Internet Explorer, Windows 10, Windows 8.1, [詳細](#)

✉ メール

🖨 印刷

📡 RSS フィードを受信登録する

Web サイトのセキュリティ証明書に問題があることを通知するエラーメッセージが表示されることがあります。Internet Explorer では、サイトの証明書を使用することで、サイトとの安全な接続を確立できません。証明書のエラーは、証明書または Web サーバーの証明書の使用に問題がある場合に発生します。Internet Explorer では、証明書のエラーについて警告することによって、情報をより安全に維持することができます。

すべて表示

- ▼ 証明書のエラーにはどのような意味がありますか。
- ▼ 証明書のエラーは無視しても安全ですか。
- ▼ 証明書のエラーが表示された場合でもサイトにアクセスできますか。
- ▼ 証明書のエラーはオフにできますか。

最終更新日: 2017/11/04

問題は解決しましたか?

はい

いいえ

^ 証明書のエラーにはどのような意味がありますか。

エラー メッセージ	説明
この Web サイトのセキュリティ証明書は失効しています。	この Web サイトは信頼しないでください。このメッセージは、セキュリティ証明書が Web サイトによって不正に取得されたか、使用されたことを意味している場合があります。
この Web サイトのアドレスは、セキュリティ証明書のアドレスと一致しません。	Web サイトは別の Web アドレスに対して発行された証明書を使用しています。このメッセージは、企業がいくつかの Web サイトを所有していて、複数の Web サイトに同じ証明書を使用している場合に発生する可能性があります。
この Web サイトのセキュリティ証明書は有効期限が切れています。	現在の日付は証明書が有効な期間の前または後です。Web サイトの証明書を最新の状態にするには、証明機関を使用して証明書を更新する必要があります。古くなった証明書には、セキュリティ上のリスクがある可能性があります。
この Web サイトのセキュリティ証明書は信頼できる提供元から発行されていません。	証明書は Internet Explorer で認識されない証明機関によって発行されています。偽造された証明書を使用しているフィッシングサイトでこのエラーが発生する場合があります。
Internet Explorer がこの Web サイトのセキュリティ証明書で問題を検出しました。	Internet Explorer がその他のエラーに該当しないセキュリティ証明書の問題を検出しました。このエラーは、証明書が壊れている、改ざんされている、不明な形式で記述されている、解読できないなどの場合に発生する可能性があります。証明書にこのエラーが発生した場合は、そのサイトを正当なサイトとして信用しないでください。

^ 証明書のエラーは無視しても安全ですか。

Web サイトの証明書は Web サーバーの身元証明です。証明書にエラーがある場合、接続が傍受されているか、Web サーバーが提示している身元が間違っていることがあります。Web サイトの正当性にまったく疑いがなく、接続が傍受されていないことがわかっており、リスクを把握している場合は、Web サイトにアクセスしてもかまいません。ただし、証明書の警告を無視しないことをお勧めします。

^ 証明書のエラーが表示された場合でもサイトにアクセスできますか。

はい。望ましい方法ではありませんが、証明書のエラーで警告されたページで [このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。] を選ぶと、目的の Web サイトにアクセスできます。警告ページを無視して、エラーがある証明書を提示したサイトにアクセスすると、ブラウザを開いている間、Internet Explorer はその証明書を記憶しています。Internet Explorer を再起動するまでは、そのサイトに戻るときにその証明書に対する新たな警告が表示されることはありません。

^ 証明書のエラーはオフにできますか。

Internet Explorer の証明書チェック機能はオフにできません。証明書のエラーが表示される場合、訪問しているその Web サイトに証明書の問題があるためであって、Internet Explorer に問題があるわけではありません。